

令和6年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会  
第2回定例会会議録

1 開催日時 令和7年2月13日（木）午後1時30分から午後2時10分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

井上 功	委員長	野々川好昭	委員	栗原 賢	委員
河田久美子	委員	仲村 節	委員	井戸田通敬	委員
高木 進	委員	松井 義夫	委員	松井 隆明	委員
稲垣 淳郎	委員	橋本 秀明	委員		
河村 典久	委員（学識経験者）				
鈴木 尚紀	委員	伊藤 新治	委員	秋田 伸裕	委員

欠席委員

前田 悦子 委員 入江 慎介副委員長

事務局

竹内 隆正	事務局長	櫻井 晃生	総務課長
熊崎 礎功	業務課長	服部 和宏	業務課長補佐
稲垣 徹	業務課施設管理係長	永見 昭恵	総務課庶務係長

4 議題

- (1) 令和6年下半期ごみ溶融炉運転状況について
- (2) 令和6年夏季・秋季気象調査について
- (3) 調整池からの排水調査について

5 会議資料

- ・令和6年下半期ごみ溶融炉運転状況
- ・気象調査（通年観測・特別観測）報告書
- ・調整池からの排水調査報告書

6 議事内容

竹内事務局長：本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、只今から「令和6年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第2回定例会」を始めさせていただきます。本日の

出席委員は、15名であります。環境センター管理委員会要綱第5条の規定によりまして、会議は成立いたします。なお本日の会議資料でございますが、既に机上に配布させていただいておりますが、次第、資料の1～3となっておりますので、ご確認いただき、不足がありましたら、申し出ていただければと思います。では次第に従いまして、委員長からごあいさつをいただきたいと思っております。

井上委員長：あいさつ

竹内事務局長：ありがとうございました。これ以降の議事の取り回しにつきましては、委員長をお願いいたします。

井上委員長：それでは、議事に入ります。議題1「令和6年下半期ごみ溶融炉運転状況について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

熊崎課長：令和6年下半期ごみ溶融炉運転状況について説明させていただきます。資料1の1ページをご覧ください。1号炉は、7月1日からの92日間を含み、133日間の運転を行いました。2号炉は、7月1日からの31日間を含み、113日間の運転を行いました。1号炉・2号炉並列運転日数につきましては、合計84日間でした。

続きまして、2ページの運転実績です。7月から12月までの搬入量合計は、搬入日数が158日、可燃ごみ量19,539.24ト、破碎残渣物が1,809.57トで、搬入量合計が21,348.81ト、大塊スラグは327.12トでした。溶融処理量につきましては、1号炉の溶融日数133日、溶融量12,103.06ト、2号炉の溶融日数113日、溶融量10,068.85ト、合計日数246日、合計溶融量22,171.91トでした。また、スラグ、メタル排出量合計は2,323.74ト、ごみ汚水量合計の194.80トについては、燃焼室へ噴霧処理を行い、ピット放水量等については1,146.10トです。搬入量合計を令和5年と比較しますと、率でマイナス1.00%、量で421.39トの減少でした。

3ページをご覧ください。令和6年下半期の環境センター調査概要についてです。(1)目的、(2)測定地点につきましては、変更はありません。(3)の測定機関と測定月、①排ガス濃度につきましては、令和6年7月から12月、②排水については、令和6年10月、③の騒音振動については、令和6年7月と11月、4ページに移りまして④臭気については令和6年7月、(4)測定項目に、変更はありません。続きま

して、5ページの排ガス濃度測定結果（手分析）をご覧ください。1号炉は8月、9月、11月、2号炉は7月、9月、11月に測定を行い、測定結果につきましては表中に記載された通りです。6ページの排ガス濃度測定結果の（自動連続測定）についても、表中に記載された通りで、協定基準値以下の値でした。次に、7ページの場内からの雨水排水測定結果について報告します。測定日は10月4日です。1のカドミウム及びその化合物から、1,4ジオキサンまでの28項目において協定基準値以下の値でした。

続いて、8ページの騒音・振動測定結果について報告します。1、騒音測定結果について、昼間の時間帯で説明させていただきます。7月3日からの24時間の測定結果にて、測定地点①で49dB、②44dB、③49dB、④44dB、⑤49dB、⑥49dB。11月6日からの24時間の測定結果にて、測定地点①で44dB、②45dB、③47dB、④44dB、⑤49dB、⑥49dB。以下、夕、夜間、朝の時間帯で測定した結果は表中に記載された通りです。測定値は、敷地境界線上での測定で、除外できない周辺騒音を含んだ値となっています。2、振動測定の結果は、昼間及び夜間の時間帯に測定を行い、7月3日からの測定と11月6日からの測定において、測定地点①から⑥の全て30dB未満であり、協定基準値以下の値でした。

続きまして9ページの臭気測定結果について報告します。測定日は7月3日です。1のアンモニアから、キシレンの22項目、及び臭気指数において協定基準値以下の値でした。10ページは、各種測定箇所的位置図です。続きまして11ページをご覧ください。上段のグラフは可燃ごみの搬入量の実績と前年同月比のグラフになります。令和6年が38,132.35トンで、令和5年より247.75トン、率で0.65%の減少になりました。下段のグラフは総ごみの搬入量の実績と前年同月比のグラフです。令和6年が42,202.70トンで、令和5年より456.30トン、率で1.07%の減少になりました。なお、10月より能登半島からの災害ごみの受入を開始しており、可燃ごみの中には、災害ごみ422.09トンを含んでおります。

12ページからは資料となります。

以上で報告を終わります。以上で議題1の報告を終わります。

井上委員長：事務局の説明は終わりました。これについて、質問はありませんか。

井上委員長：なければ、議題1については終了します。続きまして、議題2

「令和6年夏季・秋季気象調査について」及び議題3「調整池からの排水調査について」を一括議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

服部課長補佐：資料2、気象調査、通年観測報告書と特別観測報告書の1ページをご覧ください。第1章調査概要の1-1目的、1-2調査地点につきまして変更はありません。

1-3調査期間、通年夏季調査期間は、令和6年6月1日～令和6年8月31日まで。通年秋季調査期間は、令和6年9月1日～令和6年11月30日まで特別観測秋季調査期間は、令和6年11月1日～令和6年11月7日です。

1-4調査機関は、一般財団法人 日本気象協会です。1-5調査項目及び測定方法につきましては、変更ありません。2ページは、調査地点図になります。続きまして、3ページをご覧ください。第2章調査結果について報告させていただきます。風向・風速、通年観測調査は夏季について説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、西北西からの風8.7%、西からの風8.3%、環境センターが位置する北からの風の頻度は、5.3%でした。平均風速は、毎秒1.5mで、最大風速は、7月24日の9時に北北西からの風、毎秒7.2mを観測しました。

秋季の調査結果につきましては、表中に記載の通りです。

続きまして風向・風速 特別観測調査について報告させていただきます。期間中の気温、湿度については、環境センター地点で平均気温16.9℃、平均湿度74%でした。風向・風速につきましては、野口地点で説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、西北西からの風が14.9%、北西からの風が14.3%、西からの風が10.1%でした。環境センター方向からの風の頻度は、北からの風、4.8%を観測し、平均風速は、毎秒1.8mで、最大風速につきましては、11月2日の16時に北北東からの風が毎秒5.9mを観測しました。ほか、林地点、大山地点、環境センター地点の測定結果につきましては、表中に記載の通りです。

続きまして、4ページをご覧ください。環境濃度、通年観測・特別観測につきましては、通年観測野口地点で、説明させていただきます。二酸化硫黄の夏季・秋季の最高値は共に、0.002ppm。二酸化窒素の夏季・秋季の最高値は共に、0.012ppm。浮遊粒子状物質の夏季の最高値は、0.036 mg/m<sup>3</sup>。秋季の最高値は、0.035mg/m<sup>3</sup>。塩化水素の夏季・秋季の最高値は共に、0.001ppm。特別観測につきましては、表中に記載の通りです。

5 ページは、特別観測全日データ秋季の調査地点での風向風速を表した図であり、6 ページは、風向別出現頻度及び平均風速、特別観測全日データ秋季の表になります。

続きまして、資料3 調整池からの排水調査報告書の1 ページをご覧ください。議題3、第1章調査概要の1-1 目的、1-2 調査地点につきましては変更ありません。1-3 調査日は令和6年10月11日になります。1-4 調査項目及び調査方法については「表1-1」に示す通りです。2 ページは水質調査地点位置図になります。3 ページをご覧ください。第2章 調査結果について報告させていただきます。水素イオン濃度は PH 8.0 生物化学的酸素要求量は 3.2 mg/L、化学的酸素要求量は 5.3 mg/L、溶存酸素量は 9.5 mg/L、浮遊物質量は 1.1 mg/L でありました。

以上で、議題2、議題3についての報告を終わります。

井上委員長：事務局の説明は終わりました。これについて何かご質問はありますか。

井上委員長：ほかに質問はありませんかなければ、議題2及び3については終了します。以上で議事を終了します。

続きまして、「その他」について、事務局から何かありませんか。

竹内事務局長：委員長からもご案内がありました。現在ご出席の委員さんで開催する管理委員会は、実質的には、今回が最後ではないかと思われま。これまでお忙しい中、委員を引き受けていただきましたこと、この場をおかりいたしまして、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。なお、各区長さんには、来年度からの新しい委員さんのご推薦をしていただきたく、関係書類を配付させていただいております。誠に恐縮ではありますが、承諾書につきましては、令和7年3月28日までに事務局の方へご提出いただきますようよろしくお願いいたします。なお、推薦いただく新しい委員さんにつきましては、令和7年4月23日（水）14：00から当センターで委嘱状交付式を予定しております。この件につきましては、別途新しい委員さんへ郵送でご案内をさせていただき予定ですので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上であります。

井上委員長：何かご質問はございますか。なければ、本日予定しておりました

議事を終了いたします。これをもちまして、「令和6年度小牧岩倉衛生  
組合環境センター管理委員会第2回定例会」を閉会いたします。

本日は、お疲れ様でした。